



FEB 6th
15号

電子機械科 NEWS

Systems Engineering Mechanical & Electrical

超えてゆく
山また山は
冬の山

山頭火

益田翔陽高等学校

直木さんって誰？

- 1月15日 2019年度下半期の芥川賞・直木賞の発表があり、直木賞には川越宗一さんの「熱源」芥川賞には古川真人さんの「背高泡立草」が決まった。ちょうど同じ時期、出版に係わる仕事を持つ従兄弟から一冊の本が贈られて来た。「芥川賞直木賞 秘話」。
- 彼からは時々本を戴く、貰い物すれば当然礼状を書かないといけない。本の感想と併せて書けば満点なんだろうが、そういうことが苦手な筆者は手っ取り早くこの二つの賞で思いつくことを書いて礼状に替えることにした。
- 改めて芥川賞。芥川龍之介は知っています。その作品も幾つか知っています。さて、直木賞。直木さんって・・・だれ？に突きあたる。さっそくネットで検索。ホーツ 「直木三十五 (サジユゴ) さん」知りませんでした。その作品も全く。
- 職員室の先生に聞いてみる。答えは同じ、変な意味で安心する。次に生徒に話してみる。三十五を知っている生徒が出てきた。オーイ生徒が優秀じゃないか。ためしに、国語の先生にも聞いてみた。さすがに名前はすぐに出てきた。でもその作品は・・・？ 結局、みんな直木さんって 誰にたどり着いてしまった。申し訳ないけど、礼状にはそんなことをしたため、従兄弟に送ることにした。

■直木さんについて改めて知ったこと。(ウィキペディアから)

- 1) 本名は植木宗一。31歳では直木三十一、32歳では三十二。35歳で直木三十五と名乗り以後定着。
- 2) 著書：「黄門廻国記」＝映画 水戸黄門の原作、「南国太平記」「正伝荒木又右衛門」「楠木正成」など
- 3) 小説家・脚本家・映画監督
- 4) 創設者は菊池寛 芥川賞：純文学（無名・新人） 直木賞：大衆小説（中堅）

工作部 ひな祭り LEDオブジェ できました

- 電子機械科の生徒が多い**工作部**の主たる活動目標は高校生ロボット競技大会用のロボットの製作。
- 4月1日に毎年その年の課題が発表になり、それから9月末までロボットの製作が続く。
- 11月に全国大会が催される。ここ数年全国大会には縁遠くなった。
- したがって、10月から後半の活動に入る。主は翔陽祭での展示、販売品の作成。
- 今年度はクリスマスイルミの作成・販売。その流れから**卓上ひな祭りイルミ（非売品）**を生徒たちが作成しました。事務室受付にチカチカしながら鎮座しています。手で押すと揺れます。



材料： 100均のボトルと雛人形（220円なり）
（金額） LEDワイヤーとトランジスターなど（150円）
電池（単三2本）と電池ボックス（170円）